

SCCJ (The Society of Cosmetic Chemists of Japan) は、化粧品の研究開発及び製造販売に携わる技術者への情報提供と交流・議論を目的とした学術団体です。2008年4月より日本学術会議協力学術研究団体として指定されており、会員数は1,820名。816の化粧品関連企業・団体・教育機関等から参加しています(2023年1月1日現在)。また世界各国の化粧品科学と技術における学協会と連合される“IFSCC (The International Federation of Societies of Cosmetic Chemists)”に加盟しています。

🍷 各種イベント参加であなたも化粧品業界人に。🍷

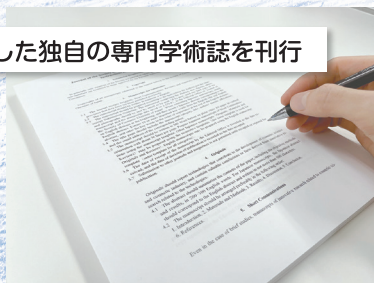
SCCJでは年間を通じて様々なイベントが盛りだくさん!

オンラインの機能を活用した新しい形でのフリーディスカッションも活発に行っています。日頃の業務に役立つ知見の他にも、思わぬ人脈の広がりや、新しい情報に出会えるチャンスが目白押しです。

SCCJ journal

化粧品技術に特化した独自の専門学術誌を刊行

SCCJでは専門誌を年に4回刊行しています。SCCJ会員になることで過去文献がすべて閲覧可能になるだけでなく、投稿も可能となります。また、2025年には新規英文ジャーナルの創刊を予定しており、国際的な学術誌を通じて研究を世界に発信するチャンスが一層広がります。



若手研究会

次世代を担う若手(35歳未満)化粧品技術者対象研究会

2022年11月9日(水)に、第50回記念講演として、「化粧品の研究開発が切り拓く新しい未来」というタイトルで、先駆的な研究をされてきた4名の講師の方々にご講演頂き(詳細は日本化粧品技術者会Webサイト参照)、東西175名の方々にご参加頂きました。



基礎講習会

なるほど!化粧品の幅広い基礎知識をみっちり学ぼう

基礎講習会は「商品開発から製造・販売時に必要な基礎的な知識の習得」を目的に、毎年開催されています。化粧品にかかわる企業に入社された若手の方を対象に、化粧品の幅広い分野での基礎知識を学ぶことができます。やさしい言葉での説明が魅力的なイベントは毎年大好評を得ています。



その他にも様々なSCCJならではの学会行事を企画しています。



詳しくはWebサイトでご確認ください。
<https://www.sccj-ifsc.com/>

「SCCJ」ってどんなところ?

What kind of society is "SCCJ" ?



セミナー委員会 委員長
はやせ もと
早瀬 基氏(花王株式会社)

こんにちは。ここでは二つの観点からSCCJに関してご紹介いたします。

化粧品は皮膚科学や界面化学、あるいは原料や製造技術などの多方面の研究に支えられています。SCCJのイベントはこれら多彩な分野へ手軽に、かつ深くアクセスできる優れたツールです。また、研究を発展させるためには競い・励ましあう仲間・ライバルの存在が必要です。SCCJは、会社・分野・年代などの壁を越えて有益な人間関係が構築できる素晴らしい場でもあります。良質の情報は受け身で得ることは困難です。まずは色々なイベントにご参加頂いてはいかがでしょうか。

SCCJは皆さんとの有意義なコンタクトをお待ちしております。

特集：会員インタビュー「SCCJに入会して良かったこと」



SCCJ正会員・準会員として活躍される3名のみなさまの声を直撃インタビュー！
入会して良かったこと、これから入会される方々へのメッセージを頂きました。

インタビューを受けてくださったみなさま



アサヌマコーポレーション株式会社
営業部 所属
くりた ともこ
栗田 知子 さん

スキンケア・メイクアップ製品の企画から中身・包材までを提案し、製品化まで進めています。



高砂香料工業株式会社
研究開発本部 所属
みはら ひさし
三原 尚 さん

消臭技術、香料の形態化、化粧品素材の処方開発など、香料や素材の付加価値を高める応用開発。



一丸ファルコス株式会社
営業部 所属
さかい りな
酒井 理菜 さん

大阪営業所にて関西を中心に、自社会員サイトのWebセミナーでも活動しています。

SCCJ会員になってプラスと感じたこと

「化粧品学」という学問は非常に幅広く、自分が仕事で直接関わっている以外の分野や化粧品に関係ないと思われる分野も多くあります。化粧品に関わる幅広い分野を知り、学ぶことができるのがSCCJだと感じます。通常業務でも学びはたくさんありますが、より広い視野を持つことで自分の幅を広げる事ができていると思います。

IFSCCでの発表やWebセミナーでの講演など、国内にとどまらず世界中の研究者に自身の研究を発表する機会を頂戴し、大変貴重な体験ができました。また、大先輩からお声をかけてくださり、IFSCCやSCCJでの様々な活動をバックアップしていただくなど、とてもフレンドリーな学会であると感じています。

企業間の垣根を越えて、横の繋がりができることが大きな魅力です。わたし自身、営業所内に同世代がいないので様々な活動を通して、各社の同世代の方々と接点を持ち話すことは刺激になります。勉強会では専門的な内容だけでなくマーケティングやトレンド等の幅広い学びがあるので、毎回どのようなテーマになるか楽しみです。

入会希望される方へメッセージ

SCCJは「横の繋がり」を非常に大切にしております。幅広い知見を身に付ける以上に、色々な専門分野の方々と接する事で学ぶことが大きな自信に繋がる事と思います。一緒に化粧品業界を盛り上げましょう！

日本は世界で最も高度な化粧品科学技術を持つ国の一つであることをご存じでしょうか。SCCJは最先端の化粧品科学を肌で感じ、自身の研究開発をより深化できる環境だと思っています。

コロナの影響でWeb開催が続いていましたが、今後はリアル開催やハイブリッド開催なども増え、学会行事へ参加する事で更なる有意義な時間を過ごしていただけたと思います。

SCCJ 第1回 日本化粧品技術者会学術大会 Annual Congress of SCCJ

テーマ

What's next for SCCJ?
未来を紡ぐ多彩な化粧品技術

開催日 2023年12月5日(火)～7日(木)

場所 大宮ソニックシティ

特別講演 株式会社島津製作所 エグゼクティブ・リサーチ フェロー 田中 耕一 先生

基調講演 慶應義塾大学 理工学部 朝倉 浩一 教授、東北大学大学院 医学系研究科 出澤 真理 教授

学術大会実行委員長からご挨拶

SCCJでは研究討論会を、1975年第1回から89回に渡り、東西の2会場にて年2回開催してまいりました。この度、この歴史と伝統あるイベントを、VISION 2025で掲げる構想に基づき、「学術大会」として進化・発展させていただくことになりました。2023年12月開催の第1回大会へ、多くの皆様のご参会をお待ちしております！



学術大会 実行委員長
はやしあきのぶ
林 昭伸 氏
(株式会社アルビオン)



33rd IFSCC Congress in Barcelona, 4-7 September 2023



世界中から化粧品技術者が集まり、最先端の研究結果が発表される世界最大級の学術大会です。芸術、文化、美食の町、バルセロナで2023年9月4日～7日に開催されます。SCCJでは参加旅行団を企画しています。詳細はSCCJ Webサイトをご確認下さい。 <https://www.sccj-ifsc.com/>
大会Webサイト：<https://ifsc2023.com/>

